

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所 津和野土木事業所	氏名	山岡史朗
派遣先 団体名	益田公民館		
<p>① 研修の日時 9/26～9/30</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 9/26～9/29 公民館の事務仕事 第11回歴史探訪ウォーキング&サイクリング大会の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼりの作成・設置 ・景品の仕分け ・大会当日の段取り確認 ・大会の宣伝 ・テント等機材の運搬・設置 <p>9/30 歴史探訪の大会運営・後片付け</p>			
<p>③ 研修の感想</p> <p>益田公民館は「公民館」と「地区振興センター」の両方の面を持っているため、業務の種類は多様で地元の住民の方と接する機会も非常に多くいい経験になった。また、今回の歴史探訪を開催するにあたって100人以上の地元ボランティアの方々の協力があり、改めて住民との距離が近い組織であることを認識した。</p> <p>今回のウォークラリーではチェックポイントごとに益田の歴史に関する問題が出されたが、自分はほとんどわからなかった。しかし、イベントに参加した小中学生たちの中には全問正解する者も多くおり、今回のようなイベントを通して子供たちに地元の歴史が根付いているのを感じた。</p> <p>上でも述べたように、公民館という組織は県民の方々と直に触れ合うことができ、県に対する意見や不満などを聞くこともできた。今回の経験は今後自分が働くにあたって非常によい経験になったのではないかと思う。また、この貴重な体験をもっと多くの県職員の人々にしてもらいたいと思う。</p>			
<p>④ その他特記事項</p> <p>(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)</p> <p>派遣先の団体によって研修日は異なるので一概には言えないが、研修への参加を申し込んでもから実際に研修があるまでに期間が空きすぎているのではないかと思う。自分の場合ちょうど仕事が忙しい時期と重なってしまったので、ある程度先の予定がわかるぐらいの期間内に実施できたらと思う。</p>			

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。

みんなで まわろう れきしの まちなみ

スタンプラリー ウォーキング & サイクリング

9月30日(日) 会場 おどい広場

11年を迎えた今大会も昨年同様、「ウォーキング&サイクリングスタンプラリー」として益田の歴史を再認識するとともに、みんな気軽に参加できるように工夫をこらしました。
ママチャリサイクリングコースでは「おもしろコースに挑戦」などを取り入れウォーキングコースともどもクイズやゲームでみんな楽しく回しましょう。

大会募集要項

- ウォーキングの部** ※飲み物は各自ご持参下さい
◆携行品 雨具・筆記用具
◆募集対象 小学生4年生以上 ※小学生3年生以下の参加希望は大人同伴
◆服装 ハイキング程度の歩きやすい服装
- サイクリングの部** ※飲み物は各自ご持参下さい
◆携行品 雨具・筆記用具
◆募集対象 小学生4年生以上で、自転車が安全に走行でき、交通ルールが守れる方
※自転車の無い方はご相談下さい ※小学生3年生以下の参加希望は大人同伴
◆服装 サイクリングに適した服装
※自転車はよく整備されていること ※小・中学生はヘルメットを着用すること

競技上の注意

- ◆主催者は競技中に発生した事故、発病等については、応急処置及び傷害保険の範囲内で対応しますが、参加者は、各自の責任において、十分注意してください。
- ◆ゼッケンは主催者が準備したものを使用してください。

申込み方法

- ◆申込用紙は各地区振興センター（公民館）、市役所（1F受付窓口）にあります。また、歴史探訪及び益田市のホームページにも掲載しています。
- ◆はがき、Fax、E-mailでの申込みは、次の必要事項を明記の上、申込して下さい。
住所・氏名（ふりがな）・年齢（学年）・連絡先（携帯電話可）

締切り 9月25日(火) **開催日** 9月30日(日)

参加料 大人 300円 小人 200円(小・中学生)
注：小学生未満は無料ですが、保険には加入しますので名簿に氏名等の記載をお願いします。なお、参加料は当日受付にて徴収します。

問い合わせ 申し込み先 〒698-0005 益田市本町6番8号
益田地区振興センター内(益田公民館)
歴史探訪実行委員会事務局 <http://www.rekitan.org/>
電話・FAX (0856) -23-5752 E-mail GSC-masuda@city.masuda.lg.jp

参加申込書 _____ 切り取り線 _____

第11回歴史探訪

ウォーキング&サイクリング大会

日本が生んだ世界のスポーツ
5月22日はサイクリングの日
競輪補助事業
JKA

【開催時間】
受付 8:30~
開会式 9:00~
競技開始 9:30~
閉会式 11:40~

ふりがな 氏名	年齢 学年	住所	TEL	参加	
				ウォーキングの部	サイクリングの部

周辺見どころ紹介【神社・寺院・史跡】

七神社

1 天石勝神社
P
創建は聖武天皇の神亀2年(725)頃。当地を開拓した春日族の祖神として社殿右手の注連岩をご神体として天石勝命をお祭りしたのが始まりで、市内でも由緒ある式内社のひとつです。桃山時代の様式を残した本殿はひわぶら三間社流造りで高欄付の縁があり、国の重要文化財に指定されています。



2 染羽大元神社
染羽地区に氏神様、国土泰平の神、国常立命を祀っています。天石勝神社境内に鎮座。



3 矢田八幡宮
家運長久の神様、天石勝神社境内倉として移転し、昭和24年に現在地に遷座。



4 益田天満宮
菅原道真公を祀る神社。御祭神の遺徳により学業成就等の神様。
11月3日に行われる例大祭は有名です。



5 三宅大元神社
三宅地区の氏神様、国常立命を祀る。国史跡三宅御土居西側に鎮座。



6 机崎神社
P
創建は聖武天皇の天平年間と伝えられ、稲積山上に農業の祖神として祭られました。南北朝時代、日野那光が山頂に築城しました。現在はこの地に移し机崎神社となりました。慶応2年(1866)長州軍が攻め入った石州口の戦いでは、ここが作戦基地となりました。




7 住吉神社
P
益田氏が七尾城の守護神、海運の神として創建。330段の石段の上からは、益田市街が一望できます。また、七尾城本丸への入口となっています。



七寺院

8 医光寺
P
臨済宗東福寺派の寺で、もとは天台宗崇観寺の塔頭でした。第五代住僧雪舟が作庭した庭園は国の名勝指定を受けており、樹齢450年といわれるしだれ桜が有名です。入口の絵門(県指定文化財)は益田氏の居城七尾城の大手門を移築したものです。




9 萬福寺
P
鎌倉時代の様式を残す七間四方の本堂は国の重要文化財に指定。雪舟が築いた寺院式庭園は国の名勝地に指定されています。慶応2年(1866)長州戦争のときには浜田藩の本陣となり激戦地となりました。



10 泉光寺
松尾山泉光寺浄土真宗本願寺派。慶長19年、益田氏の居館に建立され、平成23年、現在地に移転しました。




11 妙義寺
P
文永年間(1264)臨済宗妙義庵として創建。応永元年(1394)益田兼家の菩提寺となり、曹洞宗となりました。代々益田氏の菩提寺として帰依を受けました。




12 妙法寺
円教山妙法寺日蓮宗。天正8年の創建と伝わっています。もとは妙法庵といふ曹洞宗赤名にあった妙法寺の別庵と伝えられています。



13 順念寺
P
天台宗順光院が鎌倉時代に創建されました。益田家時代は祈願所として800年以上の歴史を持つ名刹です。源頼朝公ゆかりの宝物ほか数々の寺宝があります。天正5年(1577)浄土宗智恩院派の古寺で天文年間創建。慶長5年(1601)現在地へ移転。本尊は鎌倉時代作の阿弥陀如来で県指定文化財とされています。




14 暁音寺
P
浄土宗智恩院派の古寺で天文年間創建。慶長5年(1601)現在地へ移転。本尊は鎌倉時代作の阿弥陀如来で県指定文化財とされています。



史跡・名勝

15 扇原の関門跡
16 岸静江の墓
慶応2年(1866)大村益次郎率いる長州軍が、津和野藩領と浜田藩領の境界、扇原の関門へ押し寄せました。時の浜田藩閣守岸静江国治はこの関門を死守し壮烈な戦死を遂げました。当時31才で武士道の華として地元の人々による供養が続いています。



17 七尾公園
P
七尾公園は七尾城の堀跡を中心とした桜の名所で、昭和8年益田で最初の水源地となりました。



18 七尾城跡
(国指定史跡)
七尾城は益田氏が建久3年(1192)頃本地地を益田に移してから約400年間居城とした中世の山城です。本丸は高さ120mの山頂にあり、出丸、曲輪、空堀、馬釣井などが配置され、石見地方最初の城郭といわれています。



19 三宅御土居跡
P
(国指定史跡)
中世の豪族益田氏の居館跡で応永年間(1371)頃益田兼見によって築かれたと伝えられています。100m×200mの長方形の周囲に堀と東西に土塁をめぐらせた大型の館跡で一部は歴史公園になっています。中央に史跡を保護する特殊な道路が整備されています。




20 島根県芸術文化センター
P
P
石見地方の伝統的な石州瓦28万枚を使用し建てられた「グラントワ」は美術館と劇場が集まった複合施設です。愛称のグラントワはフランス語で「大きな屋根」を意味し、その景観は数々の賞を受賞しています。




21 歴史民俗資料館
P
P
大正10年(1921)美濃郡役所として建てられ、昭和58年歴史民俗資料館として開館し、平成8年に国の登録文化財に指定されました。七尾城や益田氏の館であった三宅御土居とその周辺の町並みの想像模型的展示や郷土の人たちの遺品を展示しています。



22 鍵曲がり
P
門前の道路が七尾城に向かって鍵曲がりになっていますが、道路の拡張で門と鐘楼が後退し、路上に昔の名残をとどめています。



23 益田兼秀公銅像
幼くして益田家15代の家督を継ぎ、幾多の戦を経て繁栄を築いた名将。大内氏と結んで応仁の乱の後石見国入りの盟主として活躍しました。雪舟を益田の地に招いたことは有名で、雪舟の郷土館には重要文化財雪舟筆「益田兼秀公銅像」が収められています。



24 益田藤兼の墓
益田家19代城主の墓。高さ2mを超える益田で一番大きな五輪塔です。益田藤兼は天文20年(1551)以降毛利氏と敵対しましたが、吉川氏の仲介で毛利氏と和睦しました。七尾城の修築、御土居の改修など行いました。



25 益田兼堯の墓
益田氏が最も繁栄した時代の15代城主の墓。側には五輪塔の一部があり、中には宝篋印塔の一部が納められています。兼堯は応仁の乱以降の激動期に大内氏とともに石見を支配する国衆として各地で戦いました。



26 益田兼方・兼見の墓
萬福寺境内の椎山墓地にある五輪塔で、11代益田兼見とその父益田兼方の墓と伝えられています。兼見は14世紀中ごろ三宅御土居、萬福寺、崇観寺(現医光寺)を創建したといわれ、七尾城や御土居と併せて中世下町がこの頃作られました。



27 辰の口
益田氏領内から辰方面の出口にあたり、古くから辰の口と呼ばれていました。長州戦争(1866)のとき、浜田藩の武士が敗走した道で負傷した剣術の名手永井金三郎がこの辺にひそんでいたのを追跡してきた長州藩士に発見され最期を遂げたといわれています。



お食事処

28 天心 [中華料理]
年中無休 日替わりランチ720円
益田市土井町 0856-23-1878

29 どさん子森 [ラーメン]
定休日 毎月16日 みそラーメン600円
益田市幸町 0856-23-0827

30 マリード [パン・喫茶]
定休日 土・日・祝日 コーヒー300円
益田市本町 0856-22-0350

31 市原家 [割烹・料亭]
不定休 遊行膳(前日予約のみ)1500円
益田市本町 0856-22-0231

32 島田家 四季 [和食]
年中無休 ランチ800円~
益田市本町 0856-22-0020

33 養老 [ラーメン・焼肉]
定休日 月 ラーメン450円
益田市幸町 0856-22-8117

34 ペガサス [軽食・喫茶]
定休日 日 コーヒー350円
益田市幸町 0856-22-3254

35 三洋軒博多ラーメン [ラーメン]
定休日 月 博多ラーメン500円
益田市昭和町 0856-23-1998

36 Pony [フランス料理・軽食]
定休日 第2・4火 ランチ1680円~ 平日15食限定ランチ1000円
グラントワ内 0856-31-1873

37 かめや菓子本店 [和菓子]
年中無休 雪舟まんじゅう105円
益田市本町 0856-22-2317

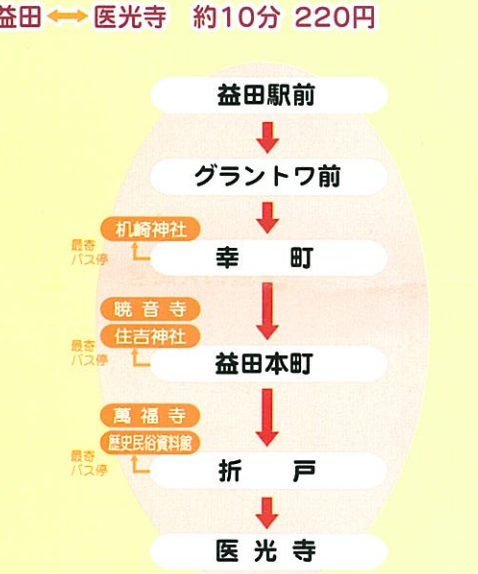
38 ひなたり [お好み焼き]
定休日 日・祝日 お好み焼き500円
益田市七尾町 0856-22-2555

39 珈琲の店みね [軽食喫茶]
定休日 第2・4・5日
焼きサンドイッチセット800円 アレンジコーヒー500円
益田市昭和町 0856-23-1992

40 起上小法師 [丼物・各種定食]
定休日 不定休
益田市昭和町 0856-23-3222

41 ハツ橋商店 [ラーメン・カレー]
定休日 日・祝日
益田市三宅町 0856-22-2314

石見交通バス 雪舟ライン



益田市へのアクセス

